

第17回武正杯ゴルフコンペ

開催日 平成23年9月29日(木)

場所 大宮国際カントリークラブ
さいたま市西区宝来910

参加費 5,000円(パーティー費等)

※プレー代(11,500円)は各自ご精算ください

※詳細などは事務所へお問い合わせください

第12回日帰りバス旅行 「山梨・昇仙峡の旅」

～昇仙峡・ほうとう会館(昼食)、恵林寺
マンズワイン勝沼ワイナリー～

平成23年11月5日(土)・13日(日)

(どちらか都合の良い日をお選びください)

参加費: 5,500円

※ご案内の請求、お問い合わせは事務所へ

たけまさ公一を支え、応援する
ボランティアスタッフ大募集!

～募集しています～

党員費 年間6,000円

サポーター会費 年間2,000円

がんばれ基金

たけまさ公一を応援する個人献金です。

(1口500円)×12ヶ月=6,000円より

*現金 *振込み *自動引落とし

☆個人献金は、寄付金控除対象になります。

*詳細については事務所へご連絡ください

上記イベントについてのお問い合わせ、申し込みは・・・

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846

E-mail: voice@takemasa-k.jp ...までお願いいたします。

衆議院議員たけまさ公一 プロフィール ●昭和36年(1961年)生まれ。

●さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。

平成元年、松下政経塾卒業 ●平成11年4月、埼玉県議会議員4期目当選。

●平成21年8月30日、衆議院議員4期目当選 ●鳩山内閣外務副大臣、第一次菅内閣外務副大臣

(国会) 予算委理事、海賊テロ特別委理事、郵政改革特別委筆頭理事

(民主党) 常任幹事、選対筆頭副委員長、地域主権調査会長(埼玉) 県連代表

たけまさ公一事務所・所在地

■浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2階

TEL:048-832-3810 FAX:048-832-3846

■岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12

TEL:048-749-6801 FAX:048-749-6802

■国会事務所 千代田区永田町2-1-2第2議員会館312

TEL:03-3508-7062 FAX:03-3519-7715



国政・新時代!

埼玉県(第1区版)
平成23年8月30日号

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
電話 048-833-3500
FAX 048-833-3503
URL http://minshu.org
E-mail info@minshu.org

～たけまさ公一衆議院議員国会レポート～ 第126号



- 特例公債法案成立で年金不足解消へ(8月26日)
- 再生エネルギー特措法案が成立(8月26日)
- 野田新代表 第95代総理大臣に(8月30日)
- 民主党埼玉県第1区地方議員並びに県政・市政担当者

ブログ「今日のたけまさ」日々更新中!

<http://ameblo.jp/takemasa-koichi/>

皆様のご意見・ご要望をお待ちしています

voice@takemasa-k.jp (アドレスを変更しました)



特例公債法案成立で年金不足解消へ（8月26日）

今年度予算（約92兆円）に充当する国債を発行するための「特例公債法案」が8月26日、参院本会議で可決、成立しました。財源不足による9月以降の予算執行が懸念されていましたが、同法案の成立で今年度予算の4割に相当する約37兆円の国債を発行できることとなります。国債の発行期間は来年6月30日までです。

また、懸念されていた基礎年金の国庫負担分（2分の1）の不足（2.5兆円）も解消できます。同法案には特殊法人に融資するための「財政投融资特別会計」と政府の為替介入などに充てる「外国為替資金特別会計」からの各繰入金（約1.06兆円、約2.3億円）に加え、旧国鉄清算事業団の業務を引き継いだ「鉄道建設・運輸施設整備支援機構」の積立金（1.2兆円）を不足分に充てることが明記されているからです。平成21、22年度は同様の措置で基礎年金の国庫負担分の不足を穴埋めしています。

再生エネルギー特措法案が成立（8月26日）

太陽光や風力などによる電気を電力会社がすべて買い取る制度を導入する「再生可能エネルギー特別措置法案」が8月26日の参院本会議で可決、成立しました。来年7月1日からスタートする見通しです。

再生エネルギーの普及を加速させるため、電力会社に対し①太陽光②風力③水力④地熱⑤バイオマス——で発電した電気を固定価格で全量買い取ることを義務付けました。買取価格・期間は経産相が決めます。例えば太陽光発電の場合、買取価格は一般住宅、メガソーラなどの事業用ともに当初は高めに設定し、太陽光発電システムの導入コストに応じて段階的に引き下げていきます。買取期間はそれぞれ10年、15～20年以内です。太陽光以外は電源の種類・規模に応じて買取価格を決定し、買取期間は設備の減価償却期間などを参考に15～20年以内となっています。

買取費用負担額について経産省は平成31年度に標準家庭（300kWh/月）で月額150～200円程度、毎月の電気使用量が25万kWhの中規模工場と同12.5万～17万円などと試算しています。しかし、法案にはエネルギー特別会計の石油石炭税や電源開発促進税の充

当で負担を軽減することが盛り込まれています。

一方、同法の成立でCO2削減と経済効果も期待されています。制度導入後の10年間で①～⑤の再生可能エネルギーの導入量は、1,470万kw（平成21年）から3,200万～3,500万kwと大幅に増加。CO2は2,400万～2,900万t削減される見通しです。また、太陽電池やプラントの製造業、販売、施工、林業などの関連市場は1兆円から10兆円規模に拡大する見込みで、雇用の吸収先としても期待されています。

野田新代表 第95代総理大臣に（8月30日）

民主党代表選が8月29日に投開票され、野田佳彦氏と海江田万里氏の決選投票の結果、野田氏が有効投票総数（392票）の過半数の215票を獲得し新代表に選出されました。野田代表は「全員でもう一度（転がり落ちた）重たい雪だるまを坂の上に持っていく」と述べ、震災復興や円高・デフレ対策をはじめ、社会保障・税一体改革などに挙党態勢で臨む考えを強調しました。

翌30日に衆参本会議で第95代内閣総理大臣に指名され、幹事長に輿石東参院議員会長、政調会長に前原誠司前外相、党国体委員長に平野博文元官房長官を起用する人事を固めました。

民主党は野田代表のもと、与野党協議を重視しながら霞が関とも連携して「オールジャパン」で国難を乗り越えていきます。



浅野目 義英(県議・浦和区)
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会幹事長
県土都市整備委員会

民主党埼玉県第一区
地方議員並びに
県政・市政担当者



井上 将勝(県議・見沼区)
昭和54年生まれ
民主党・無所属の会
環境農林委員会
予算特別委員会



神崎 功(市議・緑区)
昭和30年生まれ
民主党さいたま市議団団長
民主党埼玉県連副代表
総合政策委員会、議会改革推進委員会



原田 健太(市議・浦和区)
昭和42年生まれ
民主党さいたま市議団政策調査会長
大都市行政政策委員会委員長
文教委員会



高野秀樹(市議・岩槻区)
昭和35年生まれ
民主党さいたま市議団副団長



三神 尊志(市議・見沼区)
昭和55年生まれ
民主党さいたま市議団
総合政策委員会副委員長
見沼田圃将来ビジョン委員会



小柳 嘉文(市議・浦和区)
昭和40年生まれ
民主党さいたま市議団
市民生活委員会
見沼田圃将来ビジョン委員会



武田 和浩(市議・見沼区)
昭和36年生まれ
民主党さいたま市議団
市民生活委員会
地下鉄7号線延伸事業化委員会



松岡 耕一(緑区・県政担当)
昭和51年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事



末広慎二(岩槻区・市政担当)
昭和55年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事



石田 昌生(緑区・市政担当)
昭和35年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事